

カンサス：小麦作柄と気象状況

2005年6月14日

2005年6月12日現在：

6月12日に終わる1週間の気温は上昇したが、各地にかなりの降雨があった。最高気温は各地で90度以上となったが、例年より低目であった。NW地区で92度、SW地区では96度Fとなり、他の地区より高温であった。1週間の降雨はNW地区では0.38～2.72インチ、WC地区では0.52～2.06インチ、SW地区では0.40～2.80インチ、東部ではNE地区で最高6.83インチを記録した。東部3地区の観測所では全て2インチ以上を記録した。州平均1週間の作業稼働日数は2.7日（前週：3.2日）であった。土壌水分は州西部を中心に改善したが、Topsoil水分は州中央部及び南部で減少し、Subsoilの水分は“過多”が増えた。全州の冬小麦の84%が登熟期（Turning）となったが、5月中旬から湿潤気象が続き、成熟は昨年並びに5年平均より大幅に遅れる結果となった。1%の圃場に収穫が開始された。昨年同期では13%、5年平均で7%が収穫完了であった。病害状況は前週と略同じであり、全体の39%が罹病無しの状態であった。冬小麦の作柄評価は、前週より多少評価が上がった。収穫期に入ってから降雨は品質に悪い影響を及ぼす恐れがある。

6月10日USDA発表の6月1日付け冬小麦の生産予想では、単位収量は40.0bu/acとなり、5月1日予想より4.0bushelsの減少となった。登熟期に入ってから天候不順、低温がマイナス要因と思われる。詳細は別表の通り。

土壌水分状況：2005年6月12日現在

Topsoil

	NW	WC	SW	NC	C	SC	NE	EC	SE	State	Week	Year
Very Short (%)	0	4	5	2	0	1	0	0	0	1	3	17
Short (%)	0	12	11	15	3	5	7	0	0	6	9	35
Adequate (%)	100	73	64	70	78	59	46	50	52	64	72	39
Surplus (%)	0	11	20	13	19	35	47	50	48	29	16	9

Subsoil

Very Short (%)	1	1	20	4	2	10	0	0	0	4	6	29
Short (%)	47	40	32	39	18	12	11	4	0	21	24	35
Adequate (%)	52	57	36	57	78	61	89	65	77	64	65	35
Surplus (%)	0	2	12	0	2	17	0	31	23	11	5	1

Week means Last Week, Year means Last year.

小麦生育状況：6月12日現在

	NW	WC	SW	NC	C	SC	NE	EC	SE	State	Week	Year	Ave.
Turned (%)	54	75	96	85	97	99	71	81	90	84	63	97	89
Ripe (%)	0	2	35	0	34	72	0	1	27	23	NA	50	37

Week means Last Week, Year means Last Year, and Ave means 5-year Average.

作柄状況：6月12日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This Week (%)	4	18	39	34	5
Last Week (%)	6	17	40	32	5

Source : Kansas Agricultural Statistics Service

6月1日付けUSDA発表の冬小麦の生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre		Production 1,000 bushels		
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
				May 1	June 1		
KS	8,500	9,600	37.0	44.0	40.0	314,500	384,000
USA	34,462	35,069	43.5	45.4	44.1	1,499,434	1,545,971

該作柄レポートに関するご質問等は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃 : Email ogawa.max@omicnet.com